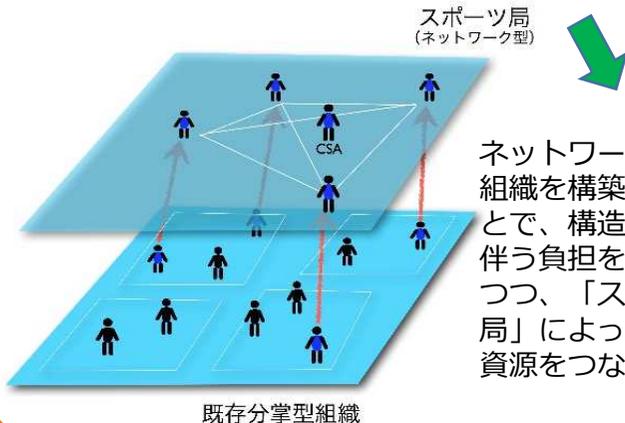


大学スポーツ振興の推進（国際武道大学の取組）

○スポーツ分野の統括業務の実施

既存の学内組織を維持しながらも、その上に新しいレイヤーとしての「スポーツ局」を重ねて構築し、既存分掌型組織の枠組みを超えた横断的な活動を促す。

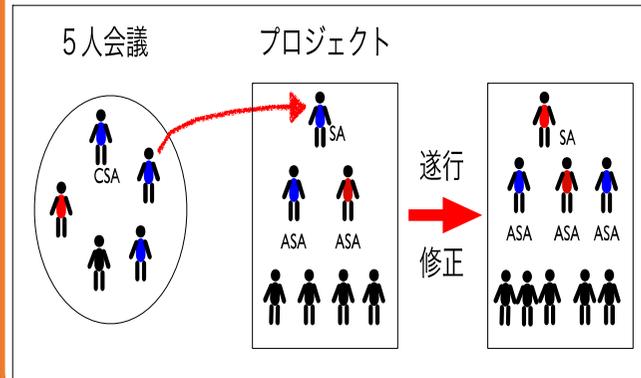


ネットワーク型の組織を構築することで、構造改革に伴う負担を回避しつつ、「スポーツ局」によって大学資源をつなげる。

○大学スポーツアドミニストレーターの設置

- ◆チーフ・スポーツアドミニストレーター（CSA）
- ◆スポーツアドミニストレーター（SA）
- ◆アシスタントスポーツアドミニストレーター（ASA）

を設置する。



CSAを中心とした学内から選出された5人会議を開催する。そこで策定された企画を、任命されたSAを中心としたプロジェクトチームで遂行し、必要に応じてチーム構成の修正を行う。プロジェクトチームは、既存の学内組織の役職等にとらわれない対等な関係によって、迅速に行動できる。

○大学スポーツにおける先進的モデルの企画・立案及び実施

勝っても負けても「おらが選手 おらがチーム」の醸成のため、次のすべての事業に取り組む。
【するスポーツ・観るスポーツ・応援するスポーツ・支えるスポーツ・教育研究するスポーツ】

① 学生アスリートのキャリア形成支援

1. スポーツと学業を両立させる支援の統括
2. 職業選択への支援の統括
3. 社会活動をマネジメントした実践キャリア獲得への支援
4. 競技キャリア獲得への支援

② 大学スポーツを通じた地域貢献、地域活性化

1. 地域総合型スポーツクラブの活性化
2. 地域の健康づくり支援
3. 南房総初女子サッカーチーム オルカ鴨川FC（なでしこ2部リーグ）の運営・応援協力の支援

③ スポーツ教育の推進

1. 学生による地域子供達・青少年への指導活動
2. 学生による中学校・高等学校の部活動への支援活動
3. 他クラブの理解醸成のための応援活動

④ スポーツボランティアの普及啓発

1. スポーツボランティア活動の授業・クラブによる継続・創出
- 【具体例】
授業
スポーツボランティア実習 など
クラブ
全国高等学校体育科・コー斯巴レーボール大会 など

⑤ スポーツ科学の研究とその成果の社会貢献

1. 研究成果の学生達の活動による社会還元
- 【具体例】
著作権フリーで国内外へ公開する体育教材の開発
学生達による障がい者武道講習会の開催 など

⑥ 大学スポーツを活用した収益事業モデルの企画・立案

1. ふるさと納税
2. 教育振興募金
3. 教育振興募金とつながる独自運営のクラウドファンディング
4. 地域企業からの支援